

生活設計に重要な役割を果たす生命保険

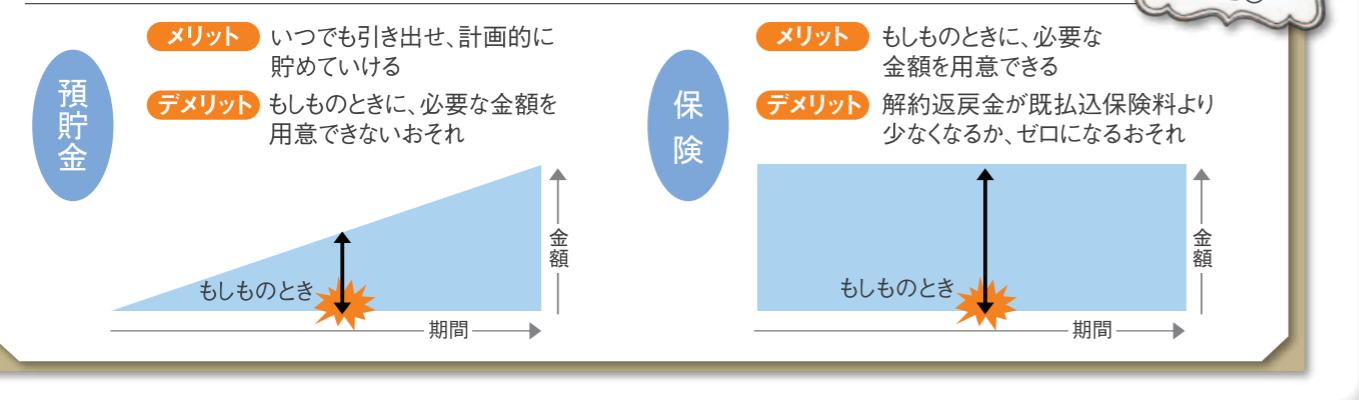


- ▶ 生命保険は、さまざまなライフイベントやリスクへの準備手段として活用されています。
- ▶ 大きく以下の4つのリスクに備えることができ、国民一人ひとりの生活設計に重要な役割を果たしています。

主なリスクと生命保険の種類

主なリスク	万一の場合 (遺族保障)	病気・ケガ (医療保障)	老後・将来 (老後保障、将来への保障)	介護 (介護保障)
生命保険	定期保険 終身保険など	医療保険 がん保険など	個人年金保険 子ども保険など	介護保険

預貯金は三角形、保険は四角形



生活設計について考えよう!

~夢や目標を実現するために~



生活設計に関する教育の充実を!

- ▶ 社会・経済の先行きが不透明な中で、安心できる暮らしを実現していくためには、人生のさまざまなリスクを認識し、前もってそれにしっかりと備えることが必要です。
- ▶ わたしたち生保労連は、生活設計に関する教育を学校教育や生涯を通じて行い、生活設計の意義・重要性に対する国民的な理解を広める必要があると考えます。

生保労連加盟組合

アクサ生命営業社員労働組合	大同生命内務従業員組合	ブルデンシャル生命内勤社員組合
アクサ内勤社員労働組合	大同生命労働組合	マニュライフ生命労働組合
朝日生命労働組合	太陽生命内務員組合	三井生命労働組合
ジブラルタ生命労働組合	T&Dフィナンシャル生命労働組合	明治安田生命労働組合
住友生命労働組合	日本生命労働組合	富国生命全国外野俱乐部(オブザーバー加盟)
生命保険協会従業員組合	富国生命内務職員組合	ブルデンシャル ジブラルタ フィナンシャル生命労働組合
第一生命労働組合	ブルデンシャル ジブラルタ フィナンシャル生命労働組合	

全国生命保険労働組合連合会(生保労連)

〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-5 湯島三組坂ビル TEL:03(3837)2031 FAX:03(3837)2037 URL:<http://www.liu.or.jp>

(2014年5月発行)

みなさんはどんな夢や目標をもっていますか？夢や目標を思い描き、人生を歩んでいくことはとても素敵なことです。

一方で、夢や目標を実現するためには、生活基盤の安定をはかり、人生のさまざまなリスクに備える必要があります。

わたしたち生保労連は、国民一人ひとりがみずからしっかりと生活設計を立てることや、そのための知識・判断力を身につけることが

重要と考えています。このリーフレットが、みなさんの生活設計を考える上での一助になれば幸いです。ぜひ、ご一読ください。

全国生命保険労働組合連合会(生保労連)

Q 生活設計って何だろう?

A 自分や家族はこうありたいという夢や目標を描き、その実現に向けた具体的な計画立てることです。



生活設計で大切な点

- Point1 中期的・長期的な計画を立て、状況によって見直す
- Point2 計画を立てる際は、以下の視点に留意する

生活設計のさまざまな視点

ライフイベントに対応する

… 結婚、出産・育児、教育、マイホーム取得など

心身ともに健やかな生活を送る

… 健康、余暇、趣味など

生活基盤の安定をはかる

… 仕事(就労)、資産形成、相続など

リスクに備える

… 万一の場合、病気・ケガ、老後、介護など

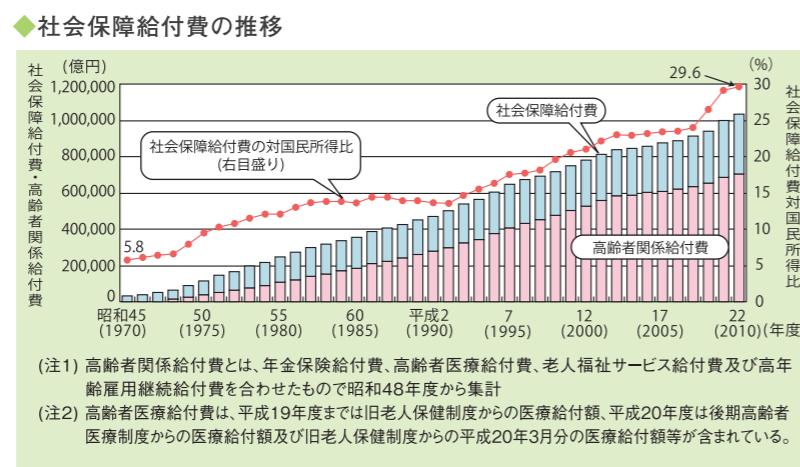
生活設計がますます大切になっている理由(わけ)

長寿化の傾向や厳しい社会保障財政、不安定な雇用情勢などにかんがみると、みずからしっかりと生活設計を立て、人生のさまざまなリスクに対応していくことがますます重要となっています。

長寿化

- 男女ともに伸びる傾向にある平均寿命

- ・生涯の収支合わせが困難に
- ・病気になつたり介護を受ける可能性が増大



社会保障財政

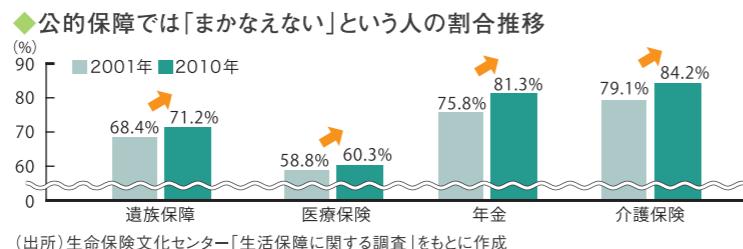
- 年々増加する社会保障給付費(右図)

- 厳しい財政状況から給付抑制が進むおそれ

雇用情勢

- 労働者全体の3分の1にまで達する非正規雇用

- 安定した収入確保が困難になるおそれ



Q 具体的にはどうすればいいの?

社会保障

自助努力

A 生活設計を考えいくうえでは、

〈社会保障〉と〈自助努力〉を適切に組み合わせ、自分に最もふさわしい計画を立てることが大切です。



わたしたちの生活を支える《社会保障》

▶ 社会保障制度は、わたしたちが安心して暮らしていくうえで欠かすことができません。ただし、給付やサービスの範囲が限定されていたり、必要な費用が全額保障されない場合もあることには十分な留意が必要です。

▶ そのため、安心できる生活を実現するためには、どんなときに、どのくらい、いつまで給付されるかなど、社会保障制度の内容をしっかりと理解しておくことが重要です。

主なリスクと社会保障の種類

主なリスク	万一の場合(遺族保障)	病気・ケガ(医療保障)	老後(老後保障)	介護(介護保障)
社会保障	遺族年金 〔遺族基礎年金 遺族厚生年金など〕	公的医療保険 〔国民健康保険 被用者保険など〕	老齢年金 〔国民年金 厚生年金など〕	公的介護保険

生活設計を充実させるための《自助努力》

▶ 自助努力は、夢や目標を実現するためにみずから準備するものです。自分の生活設計に照らして、社会保障からの給付・サービスを補完していくことが大切です。

▶ 自助努力の手段には、生命保険や預貯金などがあります。これらを組み合わせて、さまざまなライフイベントに対応したり、リスクに備えることが重要です。



【参考】ライフイベントへの対応やリスクへの備えにかかる費用の目安

ケース	ライフイベントへの対応			リスクへの備え		
	結婚	教育	マイホーム取得	万一の場合	病気・ケガ	老後
費用(平均)	約444万円	約828万円	約3,757万円	約5,500万円	約21,000円	約28万円(約35万円)
主な自助努力手段	結納・婚約・挙式・新婚旅行	幼稚園から大学まですべて国公立の場合	新築マンション購入の場合	45歳・年収600万円の方の生命価値(※)	入院時の自己負担額(日額)	月額(ゆとりある老後生活の場合)

※ライビング方式による計算。ライビング方式とは、その人が亡くなった時点で将来受け取れたであろう収入(逸失利益)を計算する方法。
(出所) 生命保険文化センターHP、生保各社HPをもとに作成